

群 議会だより 第 106 号

群馬県昭和村議会

令和4年7月15日 6月定例会

船ヶ鼻山山頂 標高一、四六六米
赤城山系に属する
村土の最高峰より
村民のとしへの幸福を
登山者の安全を願う

Contents

- 表紙 船ヶ鼻山山頂記念碑除幕
- 2~3 特集 人口減少対策
- 4~5 6月定例会
- 6~9 全協・各常任委員会
- 10~13 村の姿勢を問う
- 16~17 みんなの声



人口減少対策

定住人口促進事業を視察

昭和村においても少子高齢化とともに人口減少が進んでおり、早急な対策が求められています。今回議会では対策の一つの方法として、住宅地を確保・造成し、定住人口の増加を目的とした先進的な取り組みを行っている高山村および玉村町を視察研修しました。



高山村

地域に溶け込みやすい 宅地分譲施策

高山村では平成6年に最初の分譲が始まっており、今までに7団地77区画が売却済みです。現在2団地16区画が計画進行しています。分譲単価は1坪3万6千円前後が主流で、1坪1万円の団地もあるとのこと。元の地目は山林、原野、農地等で一部に宅地も

あるようでした。また一つ一つの団地を小規模にしており、既存の地域に溶け込みやすいようにしています。売却済みの区画では50区画は村外からの移住、22区画は村内の転居となっており、宅地分譲施策の効果が表れていると思います。この他に村営住宅も65戸運営しているとのこと。これからも人口減少対策に積極的に取り組むとのことでした。

玉村町

町の中心部に位置し利便性の高い宅地分譲施策

玉村町では平成27年度に造成工事開始。29年度に1



期目分譲を107区画で開始され、令和3年度までに236区画の新規住宅地を造成販売しています。現在6割程販売が終了しているとのことでした。

玉村町も人口減少が進ん

でおり、要因を突き止めるべく、アンケート調査を実施。転出者の方からの回答で、町内に家を建てたいが土地がないということが大きな要因であることが分かりました。このことから定住人口促進事業として文化センター周辺地区を整備しました。この地域は玉村町の中心に位置し、幹線道路の整備により交通利便性に恵まれた地区です。

区画整理区域内及び隣接した既存の住宅地街において、一体的に良好高質な住宅環境を作り出すための整備を行ったとのことでした。また、新規住宅地内の一部を除いて、新しい行政区(南福島自治会)が発足し行政運営を行っています。全236区画の60%の区画が販売され、住民比率は町内移住40%、転入移住60%となっています。

まとめ

この度、高山村及び玉村町に研修させていただきました。



大きな効果があると実感いたしました。

特に印象にのこったことは自治体の外からの移住が多いという実績を見させてもらい、わが村でも早急に取り組むべきと思います。少子化が進むのを少しでも遅くしたいものです。



全員協議会

4月・5月・6月に開催した全員協議会での協議内容は以下のとおりです。

4月8日

現在の議員定数12名について協議。

4月27日 新庁舎建設工事

4月12日時点の進捗率

建築 47・5%
設備電気 6・9%

工事は順調に進んでいるとの説明を受ける。

令和2年度昭和村財務分析

統一的な基準による財務分析では8千984万円で、村の令和2年度財政運営は堅調な財政運営を行っているとの報告を受ける。

新たな公共交通システムの導入計画

昭和村が目指す今後のバス運行は、学生の通学手段としては「既存路線バスの始発と最終便の運行を継続」、高齢者等を対象と



※イラストはイメージです

した日常の移動手段としては「日中のバスをデマンド（利用者が予約をし、指定された時間に指定された停留ポイントへ送迎）運行」とする計画を地域公共交通会議で協議するとの説明を受け協議する。

昭和村人口減少対策プロジェクトチームの設置

本村の令和3年度の出生者数が40人を割り込むとの報告を受け、議会は対策を講じるように要望。当局は全庁一体でチームを作り、

人口減少対策を始めたとの説明を受け協議する。

昭和村小学校統廃合に向けた検討委員会設置

設置要綱について説明を受けるとともに、検討委員会と議会の関係について協議する。

5月23日

新庁舎建設工事

5月17日時点の進捗率

建築 55・4%
設備電気 19・5%

工事は順調に進んでいるとの説明を受ける。

昭和村第5次総合計画実施計画

実施計画は向こう3年間とし、毎年度見直しを行っている。今回は令和3年度の事務事業について、コメントを中心に説明があり協議する。

- 主な事業は次のとおり。
- ・小中学校の普通教室に電子黒板を整備。
- ・南小学校の通級指導教室イングリッシュルームにエアコン設置。

- ・燃油価格高騰の影響を受けた施設園芸農家に燃料購入費の一部補助。
- ・村内全世帯と全事業所の上下水道料金の基本料金およびメーター使用料を6か月間減免。

令和3年度ふるさと納税寄附実績

寄附件数 2万7千854件

寄附金額

10億229万2千円

多額の寄附をいただき村予算のあらゆる分野で活用している旨説明を受け、寄附金の使い道について寄附してくれた人にも分かるような事業に充ててはどうかと協議する。

- （人気のある返礼品）
- ・バルミューダ製扇風機
- ・赤城牛ビーフカレー（中辛）
- ・バルミューダ製太陽光デスクライト
- ・とうもろこし（恵ゴールド）
- ・赤城牛ローストビーフ



バルミューダ製デスクライト

昭和村地域公共交通会議

公共交通会議は、地域の交通サービスのあり方（運賃等含む）について協議する場であり、法に基づくものである。

デマンドバス購入事業費 4千233万6千円
交付金（1/2補助） 2千116万8千円
デマンド運行バスとしてワゴン車両14人定員を2台整備予定。
令和5年当初運行開始予定。以上の説明を受け協議する。

6月13日

**昭和村住民税非課税世帯に
対する臨時給付金支給事務
実施要綱の一部改正**

令和4年度分の市町村民
税均等割非課税世帯等を加
える説明を受け協議する。

**昭和村消防団第7分団ポン
プ車購入契約の締結**

契約金額
2千739万円
契約の相手方
温井自動車工業株式会社
(高崎市)

契約方法

指名競争入札
オートマ車が部品不足で
今回は購入できずマニユア
ル車を購入したいとの説明
を受け協議する。

**昭和村消防団第6分団小型
ポンプ車購入契約の締結**

契約金額
1千529万円
契約の相手方
温井自動車工業株式会社
(高崎市)

契約方法

指名競争入札



**昭和村介護保険条例の一部
改正**

保険料の減免期間を「令
和4年3月31日」から「令
和5年3月31日」に延長す
る。

**昭和村不妊治療費助成事業
実施要綱の一部改正**

助成回数を「通算して8
回」から「一子あたりおおむ
ね10回」に改める等治療費
の助成を拡大する旨の説明
を受け協議する。

**第4回新型コロナウイルス
接種**

60歳以上の人には3回目
接種から5カ月後を目安に
接種券が届く。18歳から59
歳までの基礎疾患等がある
人は役場へ事前の申請が必

要である旨の説明を受け協
議する。

村有地の払い下げ

約千㎡の村有地について
現地を確認後、説明を受け
協議し賛成した。

こども映画教室の実施

一般社団法人こども映画
教室が行う「映画づくり」を
通じて、昭和村の子ども達
に豊かな人間教育「新しい
教育」を新規事業として実
践していきたいとの説明を
教育委員会から受け賛成し
た。



**国民スポーツ大会競技会場
の誘致**

2029年開催予定の第
83回国民スポーツ大会自転
車競技(ロードレース)の会
場について昭和村望郷ラ
イン及び大規模農道を使用
した10km×15kmの周回コー
スが候補地の一つに挙げら

れていると報告を受け協
議。誘致に賛成した。

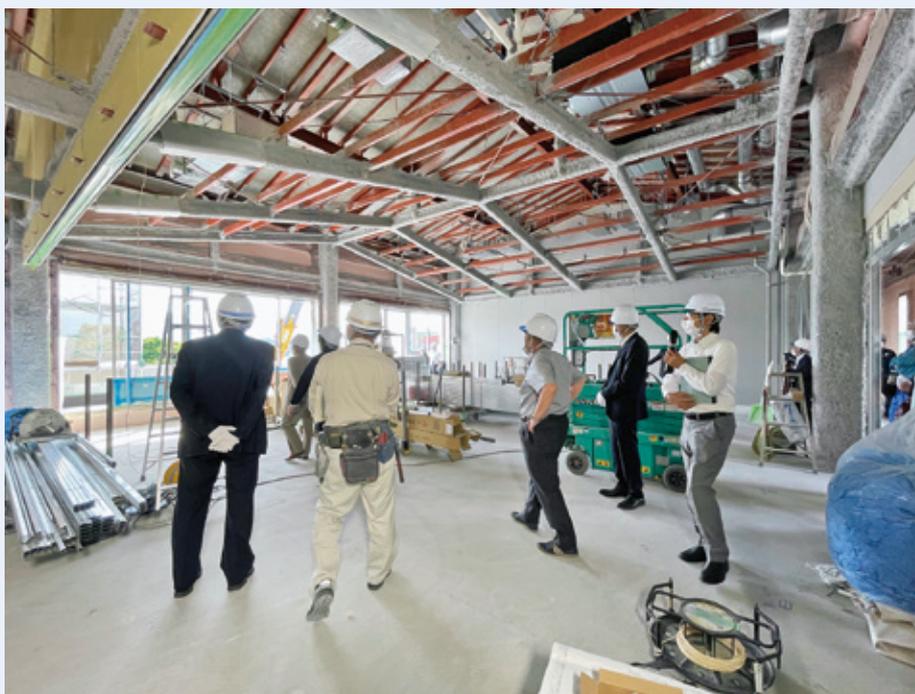
人口減少対策

人口減少対策プロジェクト
チームからの報告では、
「宅地分譲」と「特色ある子
育て支援」の2本柱で進め
ていくとの報告を受けた。
手法として職員から集めた

意見・提案を4つに分類し
検討していくとの説明があ
り協議する。

役場新庁舎建設現場の視察

1階から3階までの仕切
りと部屋の内容の説明を受
けた。新庁舎は令和5年1
月に完成し、業務は5月か
ら開始する予定。



新庁舎3階内部を視察

総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

請願を審査 3件を採択

6月9日に総務民生常任委員会を開催し、請願箇所について現地調査を行い審査した。

審査

火の見やぐらの撤去に関する請願を採択

貝野瀬田岸地区にある火の見やぐらについては老朽化しており、倒壊の恐れもある。区の総会でも取り壊しについて異議がなかったことを踏まえ、全会一致で採択すべきものとした。

防火水槽の撤去に関する請願(吹張区)を採択

吹張地区旧区民館の地下に設置されている防火水槽は、旧区民館解体に伴い撤去を検討。近隣には多くの消火栓が設置され初期消火

の不安もないことから、全会一致で採択すべきものとした。

防火水槽撤去についての請願を採択(大河原区)

大河原地区の蓋なし防火水槽2基については経年劣化しており、漏水もしている。また通学路わきを通り、子どもの転落事故の危険性もあることを確認した。そして防火水槽を撤去しても、赤城西麓畑地灌漑用水かんがいがあり初期消火の心配がないことから全会一致で採択すべきものとした。



貝野瀬火の見やぐら



グランピング施設 DOAI VILLAGE

現地視察

土合駅 グランピング施設を視察

水上駅より電車に乗り2駅先の土合駅のホームへ。486段の階段を上ると日本一のモグラ駅に到着。駅直結の敷地内にアウトドアキャンプ泊ができるグラン

ピング施設を視察。白いマシュマロのようなお部屋は夏は涼しく、冬は暖かく快適に滞在することができよう。また自然を生かした景観は一見の価値があり、宿泊施設が少ない本村での導入も検討の余地があると思った。

文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水等に関する事項を所管

請願を審査 2件を採択

6月10日に文教産建常任委員会を開催し、請願箇所について現地調査を行い審査した。
また、所管事務について、村長をはじめとする担当課長及び係長に質問し協議した。その後、川場村の二つの施設を視察した。

審査

村道四割御門2号線の道路舗装工事についての請願を採択

森下中組区長から、県道昭和インター線バイパス整備事業後には、一部の村道では接続箇所が変わることや学区が住民センターや小学校に通う道順が変わり、当該路線の利用頻度が増すことが想定されることから道路を舗装してほしいとの説明を受けた。審議した結果、全会一致で採択すべきものとした。



四割御門2号線

貝野瀬大堀地区内の排水路整備を求める請願を採択

大堀区長から、ゲリラ豪雨時などの排水路の容量不足による住宅等への被害などの説明と合わせ、排水路側の現状を確認した。審議した結果、全会一致で採択すべきものとした。



貝野瀬排水路整備

現地視察

川場村木質バイオマス発電施設視察

木材コンビナート事業と

して、地元の間伐材の木質チップを利用しバイオマス発電を平成29年4月より稼働している。廃熱を利用してハウスでイチゴ・バナナの栽培をし、イチゴは、道



廃熱を利用したバナナ栽培

川場谷小水力発電所視察

水の豊富な川場村では、天候や昼夜に左右されない水力発電に着目し、令和3年5月に川場谷小水力発電所を開所し稼働をしている。川場村の地形と水量を活かした工事により、落差118mから出される発電量は、約300戸の一日の電力をまかなうことが出来る199kWと優れた機能となっている。

自然エネルギーを有効に

利用した環境への取り組みと理解した。



取水口の遠隔放水銃



片柳 悦夫 議員

遠距離バス通学無償化を

教育長 保護者負担を軽減

問

去年の秋に議員出前懇談会が開催され、大河原地区での話し合いの中で、保護者から昭和中学生の遠距離バス代を無償化してほしいとの切実なお願いがあつた。

保護者負担が一年間4万3千92円と大きな負担となっているが、スクールバスの検討はまだ見えない。現在通学している生徒の保護者に対して温かい思いやりを。

答
村長

大河原の保護者より負担の軽減の申し入れについて要望をいただいているので、教育委員会に検討の指示をしている。時間をかけては保護者の負担が続いてしまうので、早急に対応していきたい。

答
教育長

遠距離等通学費補助規定の補助を受けてバス定



大河原バス停



中学校バスターミナル

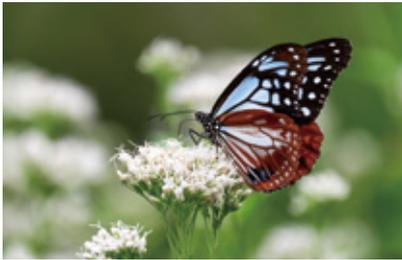
期を購入している人は43名。定期代総額は約430万円で、そのうち7割の300万円を村が負担している。
遠距離通学費補助規定を改定するのではなく、新たな子育て支援策として保護者負担額の一部を支給したい。
現在の保護者負担3割のところ、2割分を年度末に支給し、保護者は1割の負担にしたいと思っている。



林 勝美 議員

望郷ライン沿いの 空き地の活用は？

村長 地域の皆さんにできるだけお願いする。



アサギマダラ

問 望郷ライン沿いに空いている村有地が雑草でおおわれているが、今後活用されるのか。またその計画はあるのか？

例えば秋の七草の多年草 フジバカマを植栽したらどうか。

草丈1メートル以上になり8月ころから可憐な花が咲きます。そこにわたり蝶アサギマダラが中継地に選んでくれるかもしれません。

アサギマダラは日本各地で捕獲された後、マーキングされた後、放たれます。それによつてどこから飛来してきたかわかるそうです。夢とロマンがあると思います。



上から見た化石林の一部

答 村長 以前は植栽されていた所が、令和3年以降は植栽されなくなって空き地になっていっているのは承知していて残念に思っている。

今後植栽している団体や地域の皆さんにできるだけお願いする。



浸食により姿を現した化石木

問 生越・清水の化石林の保護や県の文化財指定の働きかけをどのようにするか、新教育長にお聞きする。

答 教育長 昭和村の重要文化財として指定されているが、主要な部分はすべて沼田市側の河川に存在する。今後沼田市と協議し検討していきたい。

問 多くの村民にその存在を知ってもらう事や、児童・生徒への学習へのアプローチは？

答 教育長 村民にその存在を知ってもらう事については工夫して行います。子供たちの学習については、昭和村という地域学習を化石林も含めて、計画性をもって進めていきます。



加藤 生 議員

人口増への施策

村長 農振除外を進め、農地転用促す

問

人口増への施策について。子育て・若者世代の定住化構想支援。例えば家賃補助、住宅建築補助金、転入若者思いやり予算。複数戸の人家進入路舗装整備等の考えを伺います。

答 村長

おむつ等乳児日常生活用品購入費助成事業を行っている。また今年度は、保育園の完全給食化を促進している。
新築住宅補助金交付事業や、新婚生活支援事業などの転入者にも昭和村に定住してもらえよう施策を実施してきた。
複数戸の人家進入路舗装事業については状況に応じて対応していきたい。
また農振除外を進め農地転用をして住宅を建てやすくしていきたい。

問

高齢化が進む中で、現状の道路愛護作業が今後できなくなると感じられる。今後の対応を伺います。

答 村長

高齢化し側溝の土砂上げ等の作業は思い通りにできなくなると考えている。

道路愛護作業は安全第一、できる範囲で

農業支援は農業者に寄り添った支援を

問

農業支援の施策について。資材は高騰し営農への意欲が失われてしまっています。村独自の政策は考えているのか伺います。

答 村長

国や県など、関係機関と連携し各種補助事業の活用を図り、農業者に寄り添った支援をしていきたい。



高騰が心配される農業用資材

英語学習の在り方、英語力向上は不可欠

問

言語を理解することによってコミュニケーションが取れ、国際関係がうまくいき平和な世界が実現するのではないのでしょうか。子どもたちの英語学習の在り方についてお聞かせ願いたい。

答 教育長

英語教育は基礎的・基本的な技能を活用し、問題解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育成し児童・生徒の将来的な可能性の広がりのために欠かせない重要なものである。
英語を使いコミュニケーション



ALTによる授業

ケーションを図る体験を積むことが必要である。



林 幸司 議員

所信は、連携型小中一貫校の推進を

教育長 「地域とともにある学校づくり」
「統合検討委の意見を十分考慮」

問

所信、休日部活動の地域移行、30人以下学級、特別支援教育の現状、給食費無料化継続、教職員残業手当など、教育の諸問題について伺います。

答 教育長

学校と地域が連携・協働し、一体となった学校づくりを推進します。現在は土日どちらかのみ部活動を、外部コーチの雇用や指導者の協力など、状況を調査しながら考えていきたい。複数クラスが実現できるので、30人以下の少人数学級にすんでほしい。特別支援学級在籍人数は、10年前の8人から23人へと増加し、きめ細かな成長に必要な最善の対応をとって行きたい。給食費無料化継続については検討していきます。残業手当が一律給与額の4%というのは考えていく必要があります。

答 村長

学校給食費の無料化継続については、財政問題もあり、よく検討し考えていきたい。

学校在り方検討委員会「経過報告(令和3年5月)」より 小学校3校の統合と小・中一貫校について

- ①義務教育学校
- ②併設型小・中一貫校
- ③連携型小・中一貫校

「本村の小中一貫校を考えるならば、小・中学校を近くに併設し、交流を行いなから②(併設型)か③(連携型)での小・中一貫校を検討していくのが適切ではないかと思われます。」

国連包括的性教育の推進を

問

生命(いのち)の安全教育本格実施にあたり、ユネスコ「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」を生かして頂きたい。

答 教育長

ジェンダーの理解など遅れているのも事実。来年度から生命の安全教育を全小中高で普及・展開

小学校統廃合では連携型の推進を

小学校3校の統廃合に向けた検討委員会が始まりました。

をひろい上げられるよう運営していきます。

答 教育長

併設型や連携が望ましいとしておりますが、調査が必要です。県内で義務教育学校は3校が開校しています。今後、小学校統合検討委員会ですら十分に議論することが大事だと考えます。保護者の方々の意見を



ICT教育で村長・議員らが小学校を参観

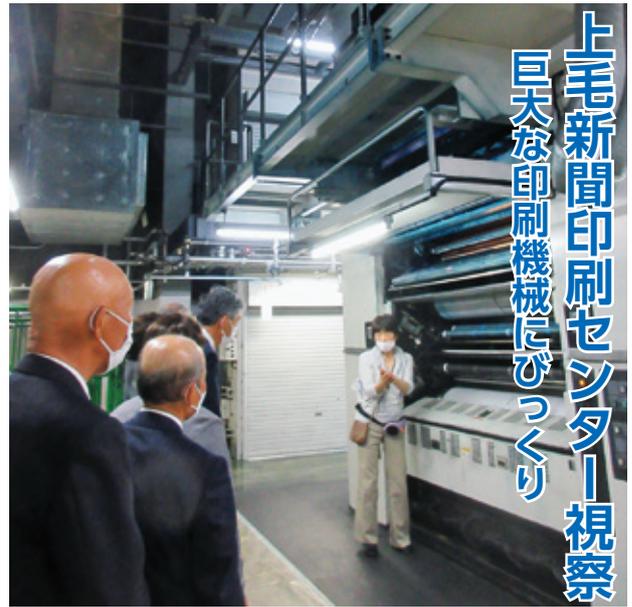
を図る予定です。

ガイダンス解説本を教職員図書として整備し、活用を検討していきます。

視 察 ・ 調 査 ・ ト ピ ッ ク ス

イーグルポイントと オンライン交流を開催

5月20日午前9時、公民館大会議室にてインターネットを通じて、イーグルポイントの皆様と近況報告や今後の交流について協議を行いました。コロナウイルス感染症の状況に注視しつつ、可能であればお互いに行き来し交流を深めることを再確認しました。



上毛新聞印刷センター視察 巨大な印刷機械にびっくり

4月25日、議会広報委員会は朝日印刷工業(株)と上毛新聞印刷センターを視察しました。朝日印刷では議会だよりができるまでの過程を視察。上毛新聞では新聞が出来上がり、私たちの家庭に届くまでの工程や読みやすい記事の書き方を学習してきました。

赤城山船ヶ鼻山頂 記念碑除幕式

5月28日午前7時、船鼻岳遊会の方々が整備してくれている登山道により山頂を目指しました。午前10時、神官の厳かな神事後、祈念碑の除幕を行いました。この場所は標高1466mであり、村の最高地点です。ここから村民の幸福と登山者の安全を祈願します。



横浜市会表敬訪問 さらなる交流を確認



6月2日、横浜市会を表敬訪問しました。新庁舎と議事堂、開港記念バザーの様子、さらに新設された横浜武道館を視察しました。この日は横浜開港記念日であり、市民が港に感謝する日です。市内各地で賑わいのあるさまざまなイベントが催されており、横浜市民にとって大事な日であることが感じ取れました。

問

村民の皆さんや住民代表の区長さんから提出された請願や陳情の進み具合について

皆さんから提出された「道路の舗装」や「排水対策」などの請願や陳情は、緊急の度合いや国、県の補助金の関係、村予算の状況等を総合的に勘案し、優先順位を付け実施していますが、実施されていない請願等の今後の実施の見通しについてなかなか予算が伴わず議会として追跡してみました。

答

村当局の回答は、過去5年間溯って現在、未実施の請願・陳情数は平成29年度分が1件、平成30年度分が1件、令和元年度分が3件、令和3年度分が4件となっています。

平成29年度分の請願である「村道赤坂線道路改良工事のお願いについて」等の未実施の案件については、可能な限り早急に実施していきたいと考えています。

議会として建設予算の増額を求めています。



完了した請願箇所

あの問題は



その後

村議会としては、請願・陳情等は早急に実施出来るよう予算確保を含め、村当局に強く要望していきます。

年度	採択されているが未実施の請願・陳情
平成29年度	村道赤坂線道路改良工事のお願いについて
令和元年度	貝野瀬池原地内の村道「池替戸線道路排水改良工事」を求める請願書
令和元年度	生越地区内の村道宮後1号線及び宮後2号線の舗装改修を求める請願書
令和元年度	村道七曲赤谷線(107号線)沿線のうち宿区および南内出区内の竹林、雑木林の伐採を求める請願書

議員が行う提言などは、村政にどう反映されているのか。皆さんからの意見要望等は、どのように処理されているのか。その後の経過を追跡します。

みんなの声

聞きたい、知りたい

打ち込めること

東小PTA会長

田口 敏治さん



(吹張)

今年度東小のPTA会長を務めさせて頂くことになりました。小1の息子、小3の娘、小6の息子の3人が東小学校に通っています。小6の息子は1年生からFC昭和というサッカーチームに入っています。チームの最上級生となり数多くの大会や練習試合に参加しています。監督やコーチの指導によりサッカーの技術だけではなく、人とし

「議会に望むこと」についての声を各小中学校のPTA会長さんに届けていただきました。

て礼儀や考える力が身に付いたような気がします。どんなに疲れていてもサッカーをしている時には、はつらつとしてチームメンバーと楽しそうにしている姿を見ていると、打ち込める事と、場所を見つけられたのだとこちらもうれしい気持ちになります。

今期の群馬県小学生総体



ではベスト8という結果を残し、北関東大会への出場を決めました。結果も大事ですが一戦一戦真剣にプレーする我が子、そしてチームメンバーの姿に多くの感動をもらっています。中学校に進み少子化の中、部活動の編成も困難だと思いますが、打ち込める事と場所を継続させてあげたいなど親として強く思います。

コロナウイルスと向き合って

南小PTA会長

見城 達也さん



(中組)

新型コロナウイルスの発生からいまだに収束が見通せず、新型コロナウイルスとの闘いも3年目となりました。ウイルスは変異を繰り返しながら感染力を強めるなど、今なお私たちの生活や健康に影響を与えてお

ります。しかし、言葉は適切か否かは分かりませんが、警戒をしつつもコロナに微妙に慣れ始める頃になれば、通常に近い形で過ごしたくなります。あらゆるイベント、大会などの中止が昨年まで続いていましたが、本年度からはできなかった事などが少しずつではじめてきて本来の生活に戻りつつあります。記憶

に新しいのは高校野球大会中止など、子ども達の我慢が多かったと思います。現在の警戒レベルに満足せずに、感染予防などをしっかりと、子ども達の夢、一度しかない経験でできなかつたでは済まないように、これからも学校、地域など協力し合い感染防止に努めていきたいと思



子どもたちにできる事は

大河原小PTA会長

根岸 克彦さん



(中野下)

ない状況です。熊等の対応については集団下校や保護者の送迎で対応しています。が、パトロールなどを行う体制づくりも必要と考えています。

さて、コロナ禍での学習活動では屋外で距離が2m確保できたり、会話をあまりしない条件であればマスクを外してもよいことに国からも推奨されているそうです。登下校や休み時間は距離が確保できたり、会話をしなければ自分の判断でマスクを外してもよいこと

大河原小についてお話したいと思います。少子化により児童の集団下校の継続が難しくなっています。高学年が放課後まで活動したり、欠席者が多いと低学年児童だけで下校をしなければならぬ状況です。遠い子で3・5kmほどの距離を徒歩で登下校しています。通学路の整備(白線、グリーンベルト、ガードレールの設置)や熊等が出没した時の対応が求められています。通学路については要望を村に挙げていますが、なかなか整備が進ま



にしています。しかし小学生においては子供だけで過ごすとき距離を確保することや、会話をしないで過ごすことは困難な状況とかわれます。コロナウイルス感染を心配する人もおり、小学校では安易にマスクを外してもよいとは言えないことが難しいところです。

これから夏がやってきます。保護者と学校の連携を大切にして、子供たちに何ができるか常に考えたいと思います。

昭和中の小学校統合について考える

昭和中PTA会長

織田澤 智弘さん



(南部)

今年度、昭和中立昭和中学校PTA会長に就任し、それに伴い『昭和中小学校統合に向けた検討委員会』の一員となりました。

全国的に小中学校の統廃合が進む中、近隣ではみなかみ町において、四校の中学校が統合され新たな「みなかみ中学校」がスタートを切りました。

昭和中においても、少子化未就学児の減少により児童数が減少の一途をたどり、学校の在り方について見直しを迫られる時期になっております。

の関係となっていて選択が難しく、各地の事例等、情報を俯瞰し判断していかなければならないと感じております。

今まで小学校の統合等について深く考えた事はありませんでしたが、保護者を代表する立場として次世代を担う子ども達の教育効果の充実に、慎重に勘案しております。

東・南・大河原小学校の三校の統合、あるいは現状のままそれぞれ存続、中学校を含む9年間を見越した統合等、様々な意見がありますが、それぞれメリット・デメリットがあり、それは互いにトフ、表と裏



『みんなの声を募集します。』

地域でがんばる人



念願の登山道

船鼻岳遊会 岡田 重雄 さん(追分)

赤城山の麓赤城の大地に住んでいる私達は、昭和村の一番高い所に登ってみたい思いがあります。

ある日、戸神山山頂で昭和村から赤城山への登山道はあるのかと聞かれ思い立ち、森林管理署OBの星野さんに相談し、登山道整備の話が発足しました。この登山道は糸之瀬赤城山国有林の中にあります。そのため役場より森林管理署への申請許可が必要になるので、毎年少しずつ整備をしていきました。役場企画課の代々担当者の方には心より協力に感謝しています。

近年は県内外から多くの登山者が訪れています。ある方はオシダの群落が幻想的で珍しい。年配の二人連れの方は、きつい所もあるが絨毯の上を歩くような尾根があるので気持ちがいい。また何よりも道の駅で新鮮な野菜を買って帰るのが楽しみ。人それぞれの楽しみ方をするようです。

これからも安心安全な登山が出来るよ

う、星野さん、横坂さんを中心に管理をしっかりとしていきたいと思います。登山に興味がある方、ボランティア精神のある方は仲間になりませんか。



村議会議員に立候補しませんか



現在の村議会議員の任期は、令和4年12月10日までです。

これにより、11月22日告示、11月27日投開票となります。

前回の村議会議員選挙では、定数12名のところ9名の立候補にとどまり、欠員分3名が再選挙となってしまうました。

今回は、定数12名を上回る立候補となるよう村民皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



編集室から

梅雨に入り、連日雨の多い日が続いております。農作業の遅れ、野菜の病気発生が懸念される今日この頃です。ロシアのウクライナ侵攻の長期化により原油・穀物・肥料・農業資材の高騰が続き、商工業者の経営にも大きな影響が出ています。そのような状況が収まり、農産物価格・経営の安定がはかられることを願っています。

梅雨明け後は、厳しい暑さの夏がやってきます。気候変動で体調を崩す方もいると思います。熱中症予防などをして、有意義な毎日をお過ごしください。

片柳 悦夫 記
議会広報編集特別委員会

- 委員長 阿部 孝司
- 副委員長 沢浦 典子
- 委員

- 片柳 悦夫 林 勝美
- 倉沢つかさ 加藤 生
- 藤井 貞充